

2014年度 大阪健康福祉短期大学附属福祉実践研究センター
市民公開講座

もし家族や自分が認知症になったら

～ 知っておきたい認知症介護の き・ほ・ん ～

参加費無料。
お気軽に、お越し
ください。



大阪健康福祉短期大学
介護福祉学科 准教授
小田 史 氏

超高齢社会を迎え、認知症はいつ誰がなってもおかしくない状況となっています。

「最近、父親のもの忘れが増えた気がする。もしかしたら認知症!?」、「母親が認知症と診断された。どのように介護していったらよいのか…」身近な問題として、悩んでおられる方もおられるかもしれません。

認知症になると、誰しも記憶や判断をする機能が低下し生活に不自由が生じます。しかし感情やプライドは残されるため、認知症の人自身が一番混乱し、辛い気持ちを抱えていることに周囲の人が気づく必要があります。認知症の介護は、認知症という病気をよく知り、認知症の人の立場に立ってその人の思いを汲み取ることから始まるのです。この講座では認知症介護の基本と、介護の負担をやわらげてくれる社会資源などをわかりやすくお伝えします。

日 時：平成26年 10月 26日 (日) 14:00 ～ (お話 60分と質疑)

会 場：大阪健康福祉短期大学 JR 阪和線「堺市」駅～徒歩3分 裏面地図参照
3号館 310教室

参加費無料・予約不要

主 催：大阪健康福祉短期大学附属福祉実践研究センター
後 援(予定)：堺市／堺市教育委員会／堺市社会福祉協議会

お問い合わせ ☎ 072-226-6625 (事務局：川口・代田)